

## 15 外国人の自殺の状況

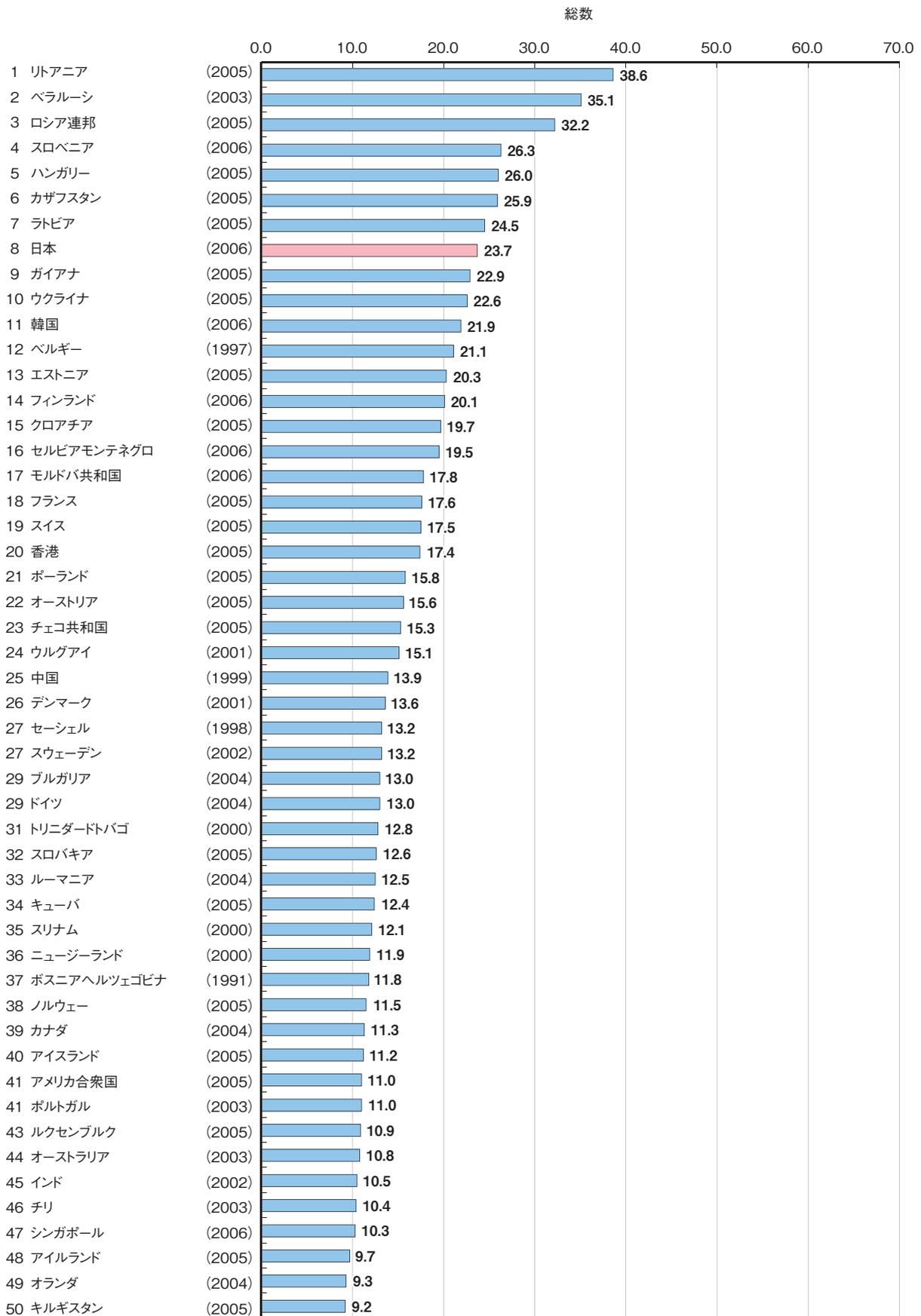
諸外国の自殺死亡率について世界保健機関によれば（第1-42図）、リトアニアが38.6と最も高く、次いでベラルーシが35.1、ロシアが32.2となっており、日本は23.7で8番目となっている。主要7か国では、フランス17.6、ドイツ13.0、カナダ11.3、アメリカ11.0、イタリア7.1、イギリス6.7となっており、男女とも日本が最も高くなっている（第1-43図）。

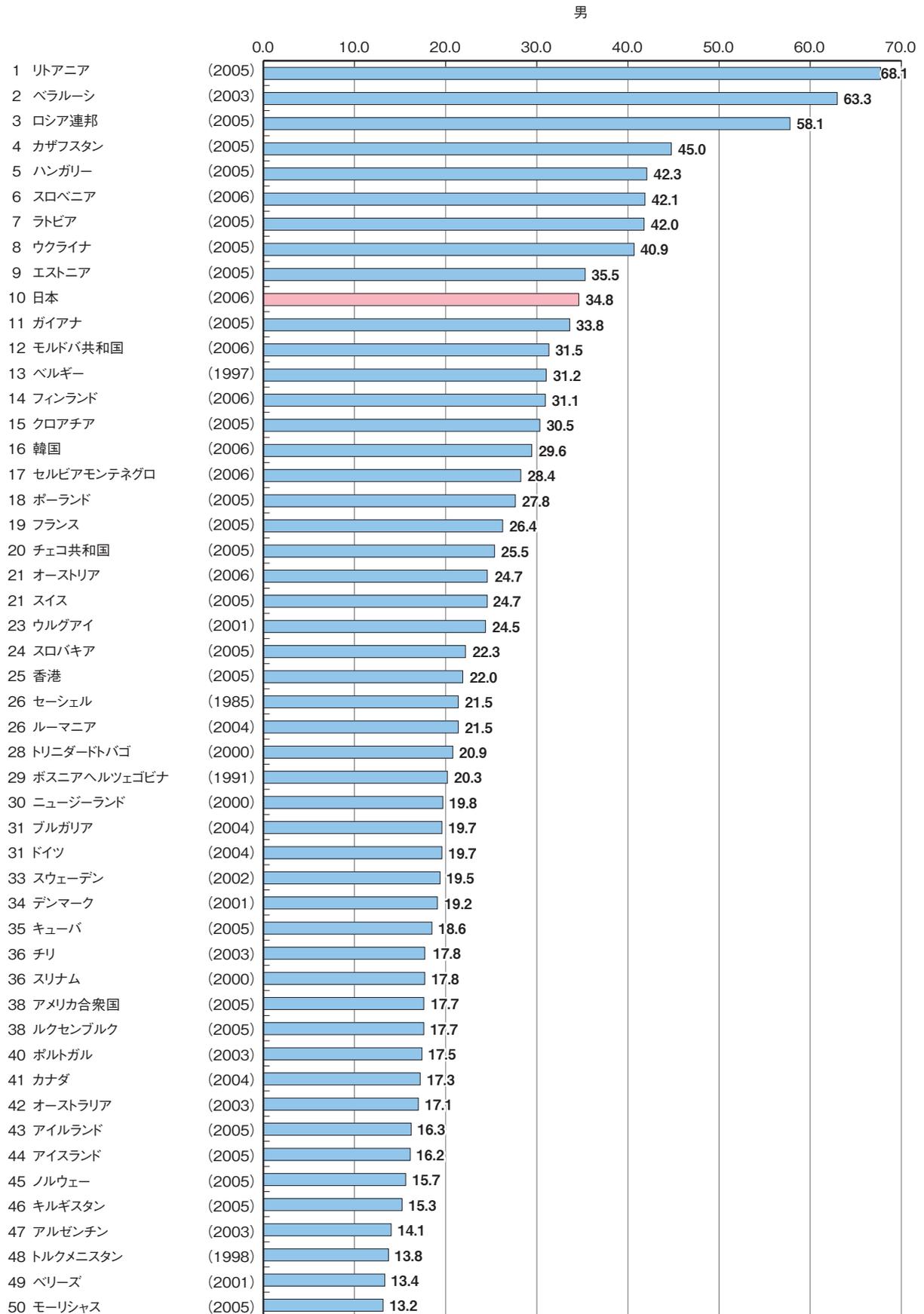
男女別にみると、男性では、リトアニアが68.1と最も高く、次いでベラルーシが63.3、ロシアが58.1となっており、日本は34.8で10

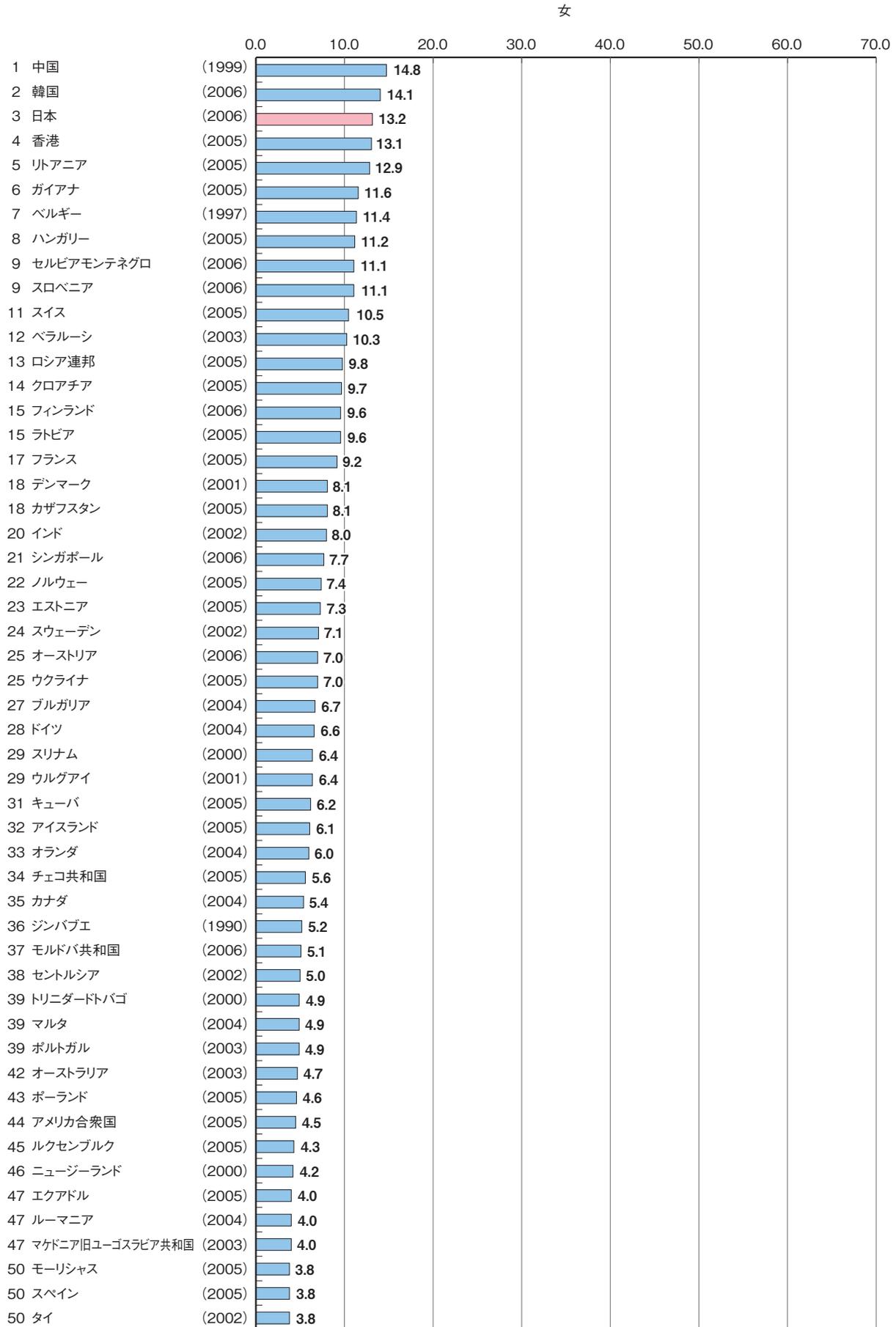
番目となっている。女性は、中国が14.8と最も高く、次いで韓国が14.1となっており、日本は13.2で3番目となっている。ほとんどの国で、男性の自殺死亡率が女性を上回っているが、中国（男13.0、女14.8）については、女性の自殺死亡率が男性を上回っている。

次に、平成20年における国内の外国人の自殺者数について人口動態によれば（第1-44図）、321人（男222人、女99人）で、国籍の内訳では、韓国・朝鮮が245人で76.3%を占めており、次いで、中国が25人で7.8%となっている。

第1-42図 自殺死亡率の国際比較(上位50か国)

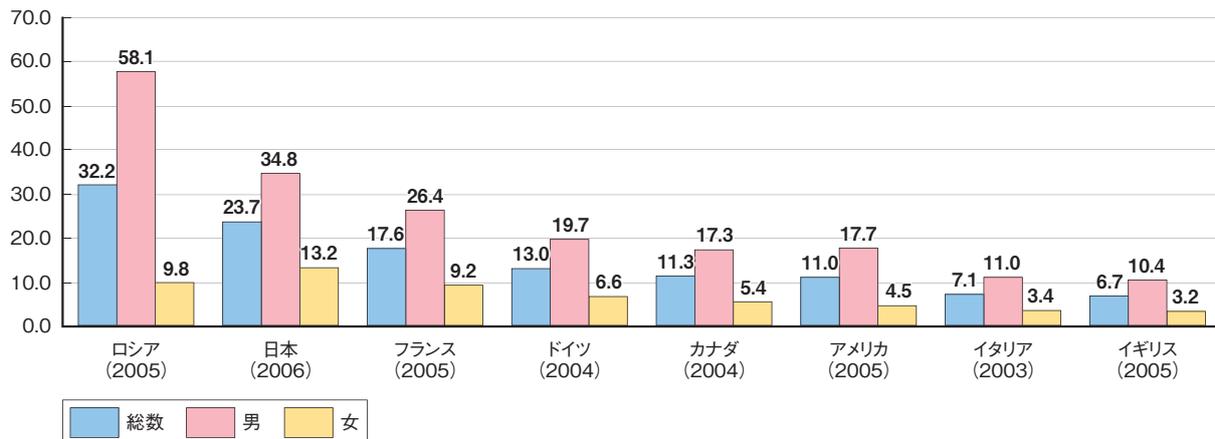






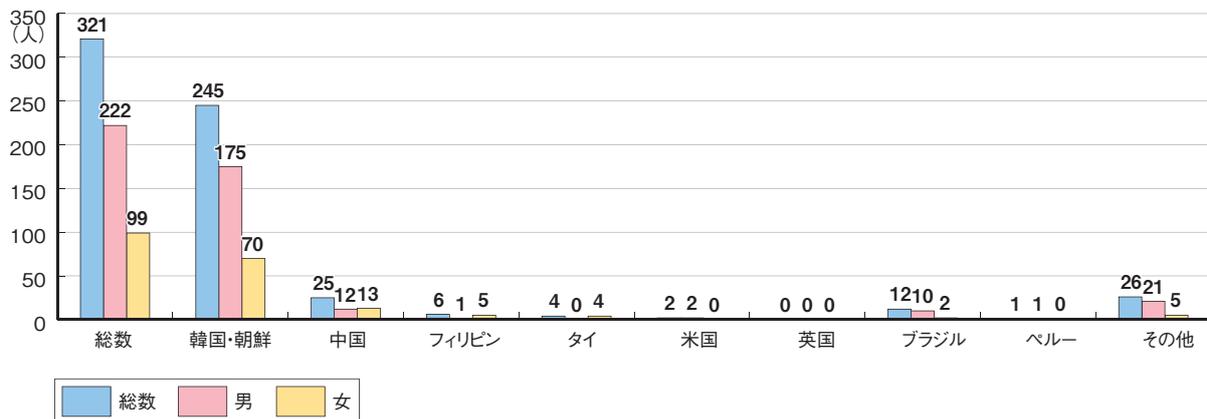
資料：世界保健機関資料より内閣府作成

第1-43図 主要国の自殺死亡率



資料：世界保健機関資料より内閣府作成

第1-44図 平成20年の日本における外国人の自殺者数



資料：厚生労働省「人口動態統計」